

令和 3 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

## 令和3年度事業報告（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

法 人 本 部 事 業		
基 本 方 針	1. 新型コロナ感染対策を最重点に情報収集日々の対応を円滑に図った。 2. 施設利用者及び職員等の安全・衛生管理をするため日々のヒアリハットの改善策を分析し生活環境・利用環境の向上を徹底した。 3. 無駄なく工夫改善を図り経費節約に努め、効率良い利用者支援の実現を図った。 4. 施設利用者の苦情解決及び人権の尊重し擁護を徹底した。 5. 理事会の開催を年6回以上実施した。 6. 地域町内会との関係を円滑に図ることを実施した。	
实 施 事 業	1. 小樽四ツ葉学園建設整備計画実施案作成準備をする。 継続 2. 運営規程に準じ第三者評価機関の受審を実施する。 延期 3. 余市豊浜学園放射線防護対策維持経費を申請する。 2,850,000 円 完了	
地 域 に お け る 公 益 的 な 取 組	1. 施設退所後の利用者に対し、預り金管理の継続実施を図った。 2. 当施設利用中の生活困窮者に対し、冬期間の灯油の援助を実施した。 3. 園芸市を開催し、学園周辺地域住民の方々へ提供した。 4. 朝里地区と共同で、まちづくりの一環として花苗の提供及び苗植えを実施した。 5. 学園の各行事等お祭りに近隣住民の方々をご招待し交流親睦を図る。 中止 6. 小樽市内の社会福祉関係機関の一員として、生活困窮者へ援助対応した。 7. 冬期間の各施設の近隣住民の除雪協力を実施した。 8. 防災時対策施設の開放及び防災機器の整備推進を持続した。	

## 令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

障害者支援施設 小樽四ツ葉学園 定員 60 名 現員 54 名	
施設整備	1. 管理棟ボイラー配管一部取替 2, 282, 500 円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（手洗い、事業所内の消毒等）を図った。 2. 利用者個々の健康面を重視し、軽い運動を取り入れると共に、医療機関と連携をし、健康の維持に努めた。 3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図るように努めた。 （避難訓練実施年～2回実施） 5. 利用者の安全を確保するため、ヒヤリハット報告を活用し、事故防止対策の徹底を図った。 6. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。 7. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応した。
地域との連携	1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。 2. 町内会の行事等に積極的に参加するよう努めた。（歩道花壇整備等） 3. 町内会へ駐車場等の提供を行う。 4. 園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域に貢献に努めた。（5月中旬～下旬）

## 令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 よつばふれあい 定員 40 名 現員 41 名
施設整備	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（手洗い、事業所内の消毒等）を図った。</li><li>利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービス提供に努めた。</li><li>虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。</li><li>防火対策及び災害対策の強化を図るように努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li><li>個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。</li><li>利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応をした。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。</li><li>町内会の行事等に積極的に参加するよう努めた。（歩道花壇整備等）</li><li>町内会へ駐車場等の提供を行う。</li><li>園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域貢献に努めた。（5月中旬～下旬）</li></ol>

## 令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 よつばさくら 定員 40 名 現員 39 名
施設整備	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（手洗い、事業所内の消毒等）を図った。</li><li>利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービス提供に努めた。</li><li>虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図った。</li><li>防火対策及び災害対策の強化を図るように努めた。 (避難訓練実施年～2回実施)</li><li>個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。</li><li>利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応をした。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。</li><li>町内会の行事等に積極的に参加するよう努めた。（歩道花壇整備等）</li><li>町内会へ駐車場等の提供を行う。</li><li>園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域貢献に努めた。（5月中旬～下旬）</li></ol>

## 令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

共同生活援助事業所よつばクローバー 定員 32名 現員 28名	
施設整備	1. 自動体外式除細動器（AED）更新 264,000円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（手洗い、住居内の消毒等）を図った。 2. 地域での生活を継続していくために、夜間対応の充実を図り、より安心して安全に生活ができるような支援に努めた。 3. バックアップ職員と生活支援員及び世話人とのミーティングを定期的に実施し、生活の質の向上を図った。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努めた。 （避難訓練実施年～2回実施） 5. 個別支援計画の見直しを年2回実施し、個々に適した支援計画を作成した。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応をした。
地域との連携	1. 町内会の行事等（清掃等）に参加をし、地域の中の一員として位置付けられるよう努める。 2. 学園本体の行事等にも参加し、交流を深める。

## 令和 3 年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

相談支援事業所 四ツ葉	
整備事業	
相談支援事項	<ol style="list-style-type: none"><li>障がい者の福祉の向上並びに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるように情報提供を図り、必要な援助、相談支援を行った。</li><li>訪問相談・電話・ファクス等の方法で相談受付（月～金曜日まで 9 時から 17 時）（土曜日は 9 時から 12 時）を実施した。</li><li>障がい者相談支援事業の実施において、小樽市委託の基本相談並びに他市町村からの依頼によるサービス計画作成及びモニタリングを実施した。 (小樽市より委託料として、3,300,000円) 計画実績数 106 件 モニタリング実績数 532 件</li><li>障害支援区分認定調査受託（小樽市及び他市町村）  認定実績数 40 件</li></ol>
地域との連携交流	<ol style="list-style-type: none"><li>障がい者の地域生活において、総合的な支援を実現するために小樽市障がい児・者支援協議会を活用し、地域での課題解決に向け、関係機関及び他の専門機関と連携調整等を行った。</li><li>後志管内及び他市町村の自立支援協議会加入事業所と積極的に交流をし、情報交換を行った。</li><li>小樽市委託の基本相談を通して、市内在住の障がい者を対象とした生活全般の相談、福祉サービス利用に向けた調整等の相談業務を行った。</li></ol>

## 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	障害者支援施設 余市幸住学園 定員 50名
施設整備事業	<p>1. 業務用洗濯機入替（次年度へ持ち越し） ※1, 178, 955円</p> <p>2. 浴室タイル・塗装工事 1, 100, 000円</p> <p>3. 食堂イス入替 331, 100円</p> <p>4. エレベーター修理 500, 115円</p> <p>5. 居室バリアフリー工事（2部屋） 855, 800円</p> <p style="text-align: right;">合 計 2, 787, 015円</p>
支援サービスの目標	<p>1. 基本人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</p> <p>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。</p> <p>3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。</p> <p>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</p> <p>5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。</p> <p>6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。</p> <p>7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（月2回）</p> <p>8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。（年4回実施） ※新型コロナウイルス発症のため実施中止</p> <p>9. 利用者集会等での要望や苦情等の速やかな解決に努めた。（年6回実施）</p>
地域との連携	<p>1. 行事等を通じて地域との交流を深め、相互理解と協力を得るよう努めた。</p> <p>2. 地域の活動（清掃、草刈）へ積極的に参加し、連携を深めるよう努めた。</p> <p>3. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。</p>

## 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 こうずみ とよおか 定員40名
施設整備事業	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 基本人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li><li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した支援の構築に努めた。</li><li>3. 事故防止に繋がるようケース会議を実施し、安全対策を講じた支援を図った。</li><li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li><li>5. 専門的スキルを身につけ、より良い支援に努めた。</li><li>6. ウォーキングなどの運動を取り入れ、体力低下や老化防止のための支援を継続して行った。</li><li>7. 音楽療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(月2回)</li><li>8. 化粧療法を取り入れ、心身の安定に役立つ支援に努めた。(年4回実施) ※新型コロナウイルス発症のため実施中止</li><li>9. 利用者集会等での要望や苦情等の速やかな解決に努めた。(年6回実施)</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 行事等を通じて地域との交流を深め、学園及び地域との相互理解と協力を得られるよう努めた。</li><li>2. 地域関連施設と連携を図り、情報の共有化に努めた。</li></ol>

## 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

就労継続支援B型事業所 こうずみ 定員20名	
施設整備事業	1. コンバイン購入（中古） 517,000円
支援サービスの目標	1. 生産・運営活動の機会を通し、就労に関する社会的マナーや知識の習得及び能力の向上に努めた。 2. 公衆浴場の運営を通じて、地域交流がより一層深まるように支援を行った。 3. 事故防止に繋がるよう、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。 4. 感染症の予防対策と安全衛生管理の徹底に努めた。 5. 基本的人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。
地域との連携	1. 公衆浴場の運営を通して地域との交流を深め、より障害者への理解を深めてもらえるよう務めた。 2. 地域共生として公衆浴場の無料開放（敬老の日）等を実施した。 3. 行事や買い物等の余暇支援を通じて、地域交流の場を設けた。

## 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所 こうずみ メープル 定員34名
施設整備事業	
支援サービスの目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域で安心してゆとりある生活が出来るように、積極的な支援を行った。</li><li>2. 個別支援計画を年2回実施し、個々に適した計画を実施し充実を図った。</li><li>3. 事故発生を予防する為、ヒヤリハット等の報告をもとに予防対策を構築した。</li><li>4. 感染症の予防対策と衛生管理の行き届いた支援に努めた。</li><li>5. 高齢化に伴う、体力・機能の低下を防ぐと共にADLの維持に努めた。</li><li>6. 基本人権を尊重し、権利擁護の意識に徹した支援に努めた。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 町内会行事に参加し交流を深め、地域の一員として暮らしていくように努めた。</li><li>2. 地域での日中活動を通じて、相互理解を深めた。</li></ol>

## 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	相談支援事業所 余市幸住学園
施設整備事業	
相談支援事業	<ol style="list-style-type: none"><li>障害者の福祉の向上ならびに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるよう情報提供をし、相談支援の実施を行った。</li><li>訪問相談・電話・FAX等の方法で相談受付（月から金曜日 9時から17時まで、土曜日は9時から正午まで）として実施した。</li><li>障害支援区分認定調査において、関係機関と調整し実施した。</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>障害者の地域生活を支援するために、自立支援協議会等を活用し、課題解決に向け関係機関及び他の専門機関と連絡調整等を行った。</li><li>自立支援協議会等に積極的に参加し、他の福祉団体との情報交換及び交流を行った。</li></ol>

## 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

余市豊浜学園 定員30名	
施設整備事業	1. 体育館プレハブ屋根布設工事 1,419,000円
	2. 体育館流し台設置工事 1,082,400円
	3. 作業棟屋根塗装 1,108,965円
	4. ボイラー室止水板設置工事 749,760円
	5. 凈化槽放流ポンプ設備交換工事 880,000円
	6. 作業棟配水管工事 502,700円
合計 5,742,825円	
支援サービスの目標	<p>1. 利用者の高齢化等に合わせ、日中活動の内容や編成を見直し充実した活動が出来るよう実施した。</p> <p>(1) 利用者各々の年齢や特性に合わせた活動支援・見守り体制の整備を図った。</p> <p>(2) 利用者個々の「計画相談」に添うサービス計画を作成し、本人のニーズも取り入れ活動の充実を図った。</p> <p>2. 感染症予防対策に係る隔離支援スペースや資機材整備と衛生管理、リスクマネジメントにおけるリスク管理、防犯対策を実施した。</p> <p>3. 休日等の余暇支援をコロナ禍であった為、園内でも実施出来る活動を取り入れ充実を図った。 (音楽療法・外出支援を含む)</p>
地域との連携	<p>1. 海浜清掃、墓地草取り、畑の耕耘、老人世帯の除雪などの活動を通じて、より一層の理解が得られるよう公益的な事業を行い、今後とも地域との積極的な交流に努めた。</p> <p>2. 地震等・自然災害発生時における、迅速で適切な避難が出来るよう訓練を実施するとともに、放射線防護施設（フィルター棟）を活用し、停電時の充電スペースの設置や災害時の日用品の提供など、近隣住民の生活の確保を含めた拠点となるように、施設機能を充実し活用した。</p>

# 令和3年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

## 中央保育所

入所延べ人数	入所児定員100名							
	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	歳児別定員	8	19	19	18	18	18	100
	歳児別定員 延べ人数	96	228	228	216	216	216	1,200
	措置延べ人數	90	144	202	230	256	180	1,102
施設整備事業	施設整備事業							
	1.遊戯室ボイラー一取り換え工事							2,500,000円
	合計				2,500,000円			
運営実績	運営事業							
	保育所の環境を整備し、常に子どもの安全に気をつけ、必要な生活習慣を身につける心身ともにたくましい子どもに育つよう保育の推進をはかりました。							
	1.特別事業							
	(1) 延長保育事業の実施。	利用延べ人數	991人					
	(2) 休日保育事業の実施。	利用延べ人數	431人					
	(3) 障がい児保育事業の実施。	利用延べ人數	24人					
	(4) 零歳児保育事業(産休明け)保育を積極的に受け入れました。							
	2.関連事業							
	(1)児童の健康管理	嘱託医による年2回の健康診断を実施しました。						
	(2)事故防止	災害避難訓練を毎月実施し、消防署職員立会いの訓練を2回実施しました。 交通安全教室を開催し、指導員より指導を受けました。						
	(3)児童園内外体験	四ツ葉学園の園バスで前田森林公園、天狗山に行きました。新型コロナウイルス感染対策で運動会は、年齢制限と保護者の人数制限で開催しました。集団で集まらないよう感染対策をしながら、社会情勢を見ながら少しづつ行事を再開しました。保育所の畑でトマトが豊作で子ども達が収穫して給食で食べました。発表会は、観覧席が密にならないように区画を作り子ども達のくじ引きで座席を決めました。 お別れ会は時間を短縮し、参加者の人数制限をしながら、行いました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食事場所を変えない・換気をこまめにする・消毒の強化等、対策をとりながら、保育を行いました。						

令和3年度事業報告

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

あおぞら保育園																																	
入所延べ定員	入所児定員 90名																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳児別</th><th>0歳</th><th>1歳</th><th>2歳</th><th>3歳</th><th>4歳</th><th>5歳</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳児別定員</td><td>10</td><td>16</td><td>18</td><td>17</td><td>15</td><td>14</td><td>90</td></tr> <tr> <td>歳児別定員 延べ人数</td><td>120</td><td>192</td><td>216</td><td>204</td><td>180</td><td>168</td><td>1,080</td></tr> <tr> <td>委託延べ 人 数</td><td>136</td><td>166</td><td>189</td><td>173</td><td>180</td><td>170</td><td>1,014</td></tr> </tbody> </table>	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	歳児別定員	10	16	18	17	15	14	90	歳児別定員 延べ人数	120	192	216	204	180	168	1,080	委託延べ 人 数	136	166	189	173	180	170	1,014
歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計																										
歳児別定員	10	16	18	17	15	14	90																										
歳児別定員 延べ人数	120	192	216	204	180	168	1,080																										
委託延べ 人 数	136	166	189	173	180	170	1,014																										
施設整備事業	施設整備事業  合 計 0円																																
運営実績	<p>運営事業</p> <p>保育所の環境を整備し、常に子どもの安全に気をつけ、必要な生活習慣を身につけ心身ともにたくましい子どもに育つよう保育の推進を図りました。求めにより、財務諸表等の閲覧に応じました。</p> <p>1. 特別事業</p> <p>(1) 延長保育事業の実施。 利用延べ人数 541 人</p> <p>(2) 一時的保育事業の実施。 利用延べ人数 11 人</p> <p>(3) 零歳児保育事業（産休明け）保育を積極的に受け入れました。</p> <p>2. 関連事業</p> <p>(1) 児童の健康管理</p> <p>嘱託医による年1回の健康診断を実施しました。（コロナ感染予防のため、後期1回実施）</p> <p>(2) 事故防止</p> <p>災害避難訓練は年2回の消防署職員立ち会いの訓練を含め、毎月実施しています。（今年度は消防署立ち合いは秋期に消火器訓練のみとなりました）大震災を念頭に置き、冬期間の地震、津波を想定した避難場所への移動避難を実施しました。また、今年度も警察署と合同で不審者対応訓練を行い、職員も真剣に取り組みました。職員がヒヤリハットを提出し、その傾向を分析し、危険回避に努めました。</p> <p>(3) 児童園内外体験</p> <p>年長児によるいもほり体験はコロナ感染予防のため、今年度も中央保育所の年長児との交流会を取りやめ、本園年長児のみでイモ植え、収穫をしました。</p> <p>コロナ感染予防のため、行事は縮小、夏祭りは園児のみ、運動会は、参加保護者を限定して行いました。その他、後期の行事の発表会は、保護者限定、クラス毎に入れ替え制の形を行って手洗い、うがい、消毒、換気、検温等の衛生面を徹底して、お別れ会等、保護者限定しながら、行うことができました。現在は、感染予防の効果もあり、インフルエンザ等の感染症もなく、健康状態が良好で過ごすことができました。</p>																																